

## 第4章 子育て世帯向けのインターネット調査等

---

### 1 子育て世帯向けのインターネット調査

#### (1) 調査概要

##### ■調査の目的

本調査は、子育て世帯における墨田区に関する居住イメージ、子育てに関する考え方などを明らかにし、住宅政策検討のための基礎資料とする。

##### ■調査対象

墨田区及び近隣区(中央区・台東区・江東区・葛飾区・江戸川区)に住んでいる 20～30 歳代の子育て世帯約 500 件

##### ■調査方法

Web モニター調査 (ネットリサーチ会社のモニター調査)

##### ■調査期間

2021 (令和 3) 年 12 月 1 日～2021 (令和 3) 年 12 月 3 日

##### ■回収状況

有効回収数 554 件

##### ■調査結果の見方

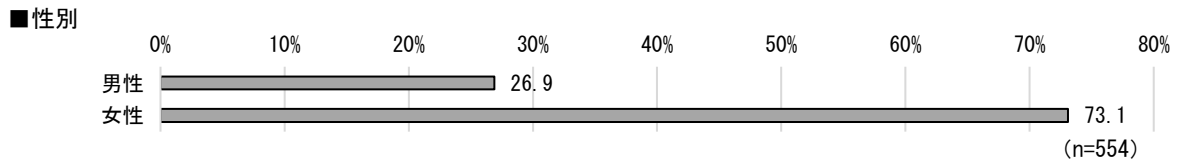
- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入して算出している。このため、百分率の合計が 100.0%にならないことがある。
- 基数となる実数は n として掲載し、各グラフの比率は n を母数とした割合を示している。
- 一部のグラフについて、クロス集計をする上で「無回答」を省略しているものがある。
- 1 人の回答者が複数回答する設問では「複数回答」と表示している。この場合、その比率の合計は 100.0%を上回ることがある。

## (2) 調査結果

### ア 回答者の属性

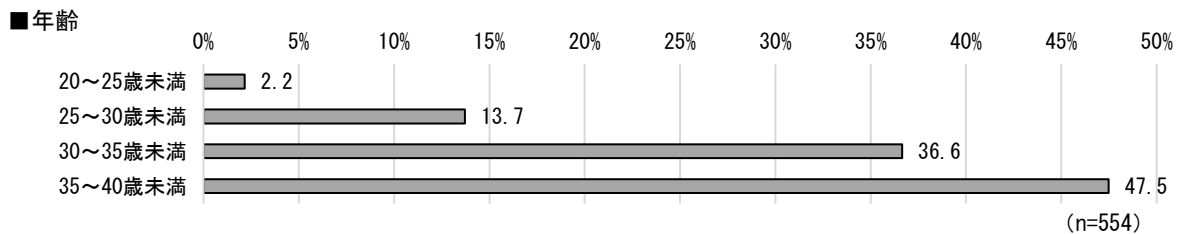
#### 【F 1】あなたの性別はどちらですか。〈単数回答〉

・性別について、「女性」が73.1%、「男性」が26.9%となっている。



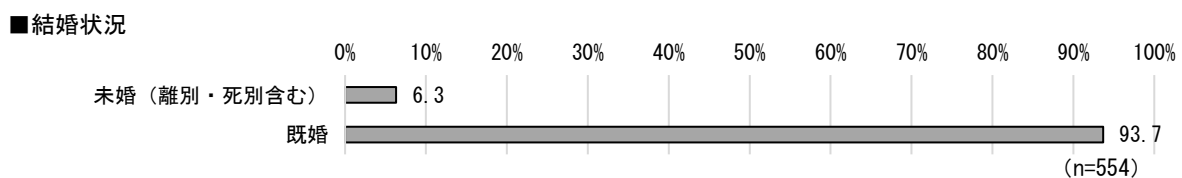
#### 【F 2】あなたの年齢をお答えください。〈単数回答〉

・年齢について、「35～40歳未満」が47.5%で最も高く、次に「30～35歳未満」が36.6%となっている。



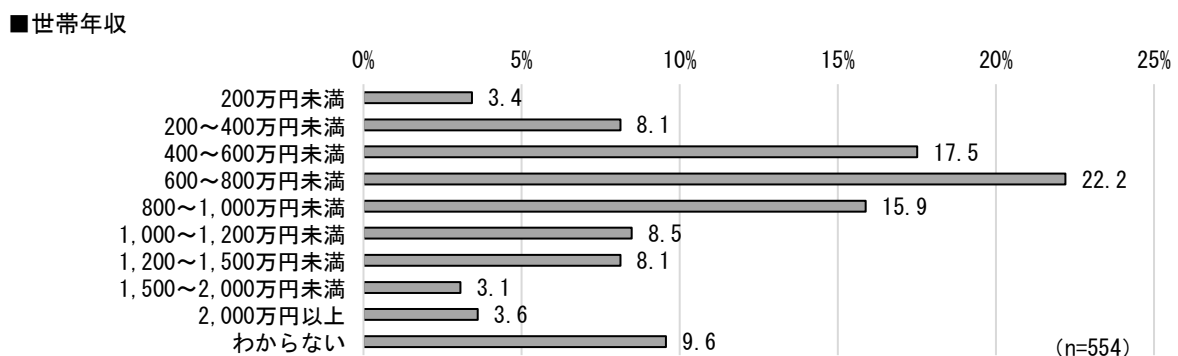
#### 【F 3】あなたは、現在ご結婚されていますか。〈単数回答〉

・結婚状況について、「既婚」が93.7%、「未婚（離別・死別含む）」が6.3%となっている。



#### 【F 4】あなたの世帯年収（税込）を教えてください。〈単数回答〉

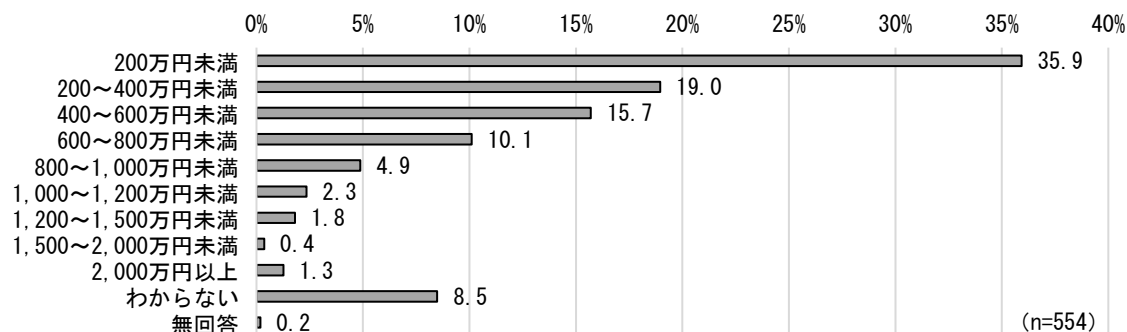
・世帯年収について、「600～800万円未満」が22.2%で最も高く、次に「400～600万円未満」が17.5%、「800～1,000万円未満」が15.9%となっている。



【F5】あなたの個人年収（税込）をお答えください。〈単数回答〉

・個人年収について、「200万円未満」が35.9%で最も高く、次に「200～400万円未満」が19.0%となっている。

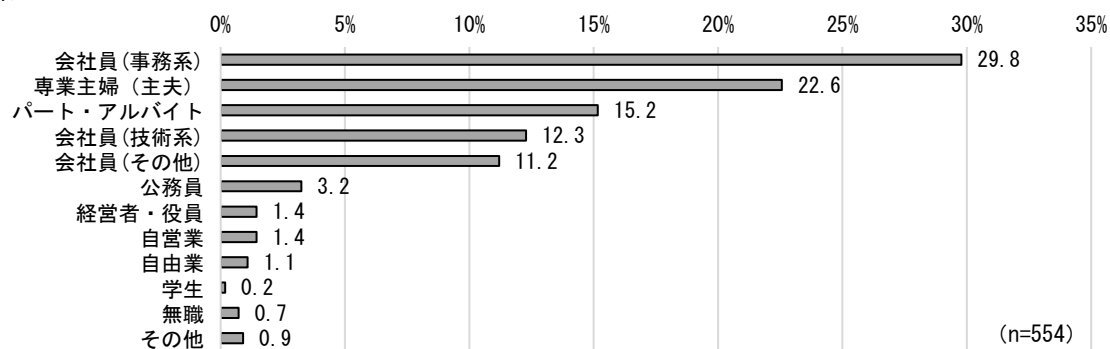
■個人年収



【F6】あなたの現在のご職業をお答えください。〈単数回答〉

・職業について、「会社員（事務系）」が29.8%で最も高く、次に「専業主婦（主夫）」が22.6%となっている。

■職業

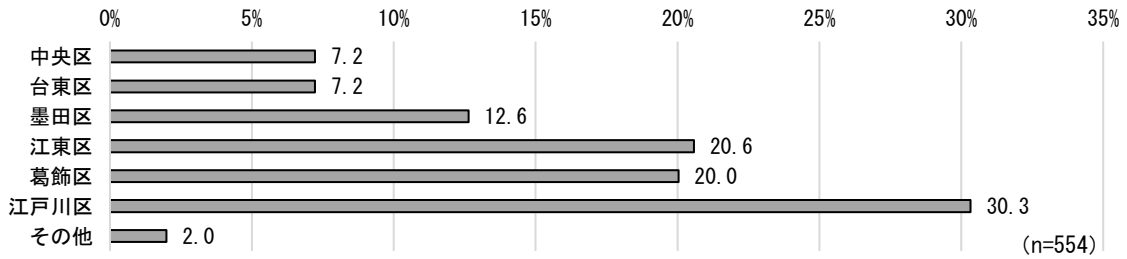


※学生の内訳：大学院生

【F7】住まいの所在地を教えてください。〈単数回答〉

- ・居住地域について、「江戸川区」が30.3%で最も高く、次に「江東区」が20.6%である。
- ・その他の居住地域について、新宿区や板橋区、文京区が主である。

■居住地域



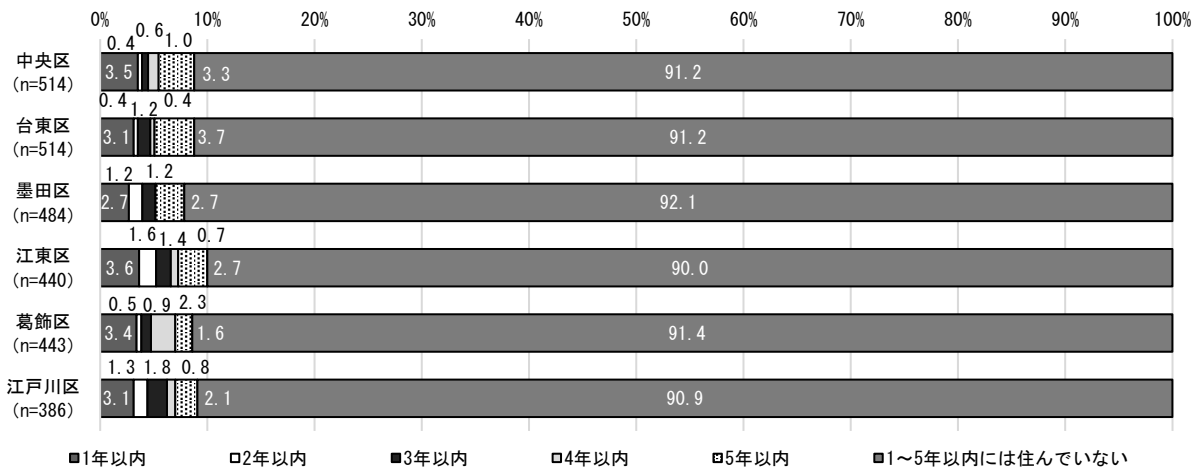
■その他の居住地域



【F8】1～5年以内に住んでいた市区町村について教えてください。〈単数回答〉

- ・現在住んでいる市区町村以外で、1～5年以内に住んでいた市区町村をみると、「1～5年以内には住んでいない」の割合は墨田区が92.1%で最も高くなっている。

■1～5年以内に住んでいた市区町村

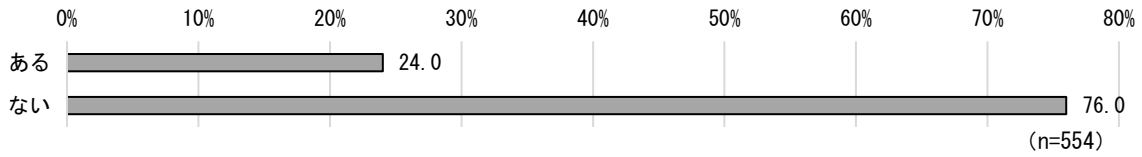


## イ 調査結果

### 【問1】 墨田区に住んだことがありますか。(または住んでいますか) <単数回答>

・ 墨田区在住経験の有無について、「ない」が76.0%、「ある」が24.0%となっている。

#### ■ 墨田区在住経験の有無

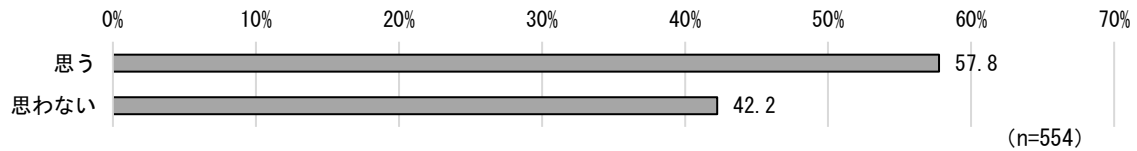


注：「ある」に現在墨田区に住んでいる人数を含む。

### 【問2】 墨田区に住んでみたい(または住み続けたい)と思いますか。 <単数回答>

・ 墨田区に住んでみたい(または住み続けたい)と思うかどうかについて、「思う」が57.8%、「思わない」が42.2%となっている。

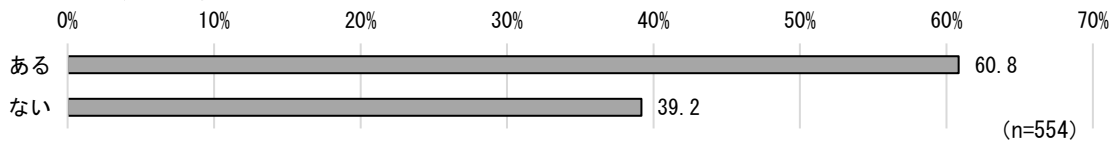
#### ■ 墨田区に住んでみたい(または住み続けたい)と思うかどうか



### 【問3】 5年以内に引っ越したことはありますか。 <単数回答>

・ 5年以内の引っ越しの有無について、「ある」が60.8%、「ない」が39.2%となっている。

#### ■ 5年以内の引っ越しの有無

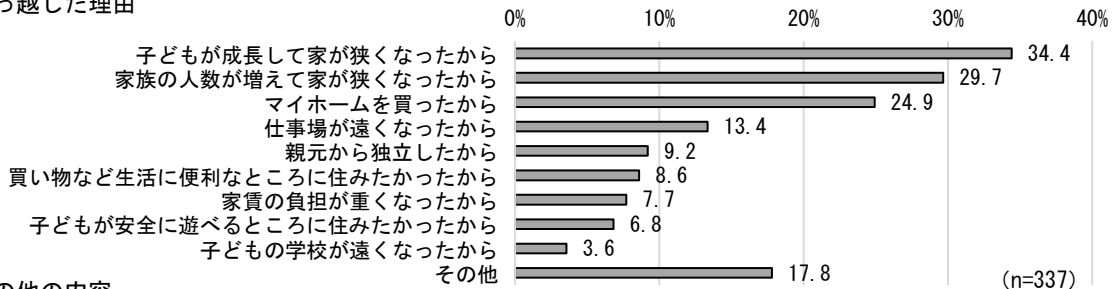


【問4】引っ越した理由はどのようなことでしたか。〈複数回答〉

問3で「ある」と回答した方にお尋ねします。

・引っ越した理由について、「子どもが成長して家が狭くなったから」が34.4%で最も高く、次に「家族の人数が増えて家が狭くなったから」が29.7%、「マイホームを買ったから」が24.9%となっている。

■引っ越した理由



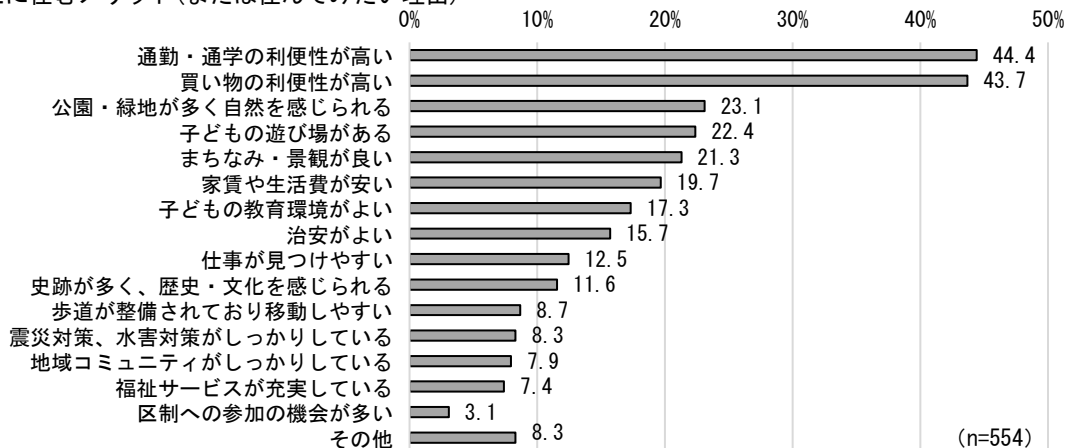
■その他の内容

- ・結婚したから。
- ・離婚したから。
- ・転勤
- ・子どもの卒業に合わせて。
- ・子どもの学区
- ・コロナの影響 等

【問5】墨田区に住むメリット(または住んでみたい理由)を教えてください。〈複数回答〉

・墨田区に住むメリット(または住んでみたい理由)について、「通勤・通学の利便性が高い」が44.4%で最も高く、次に「買い物の利便性が高い」が43.7%、「公園・緑地が多く自然を感じられる」が23.1%、「子どもの遊び場がある」が22.4%となっている。

■墨田区に住むメリット(または住んでみたい理由)



■その他の内容

- ・コロナ対策に安心できる。
- ・スカイツリーが近い。
- ・実家が近い。
- ・風情がある。 等

【問6】墨田区の魅力をひとつあげてください。

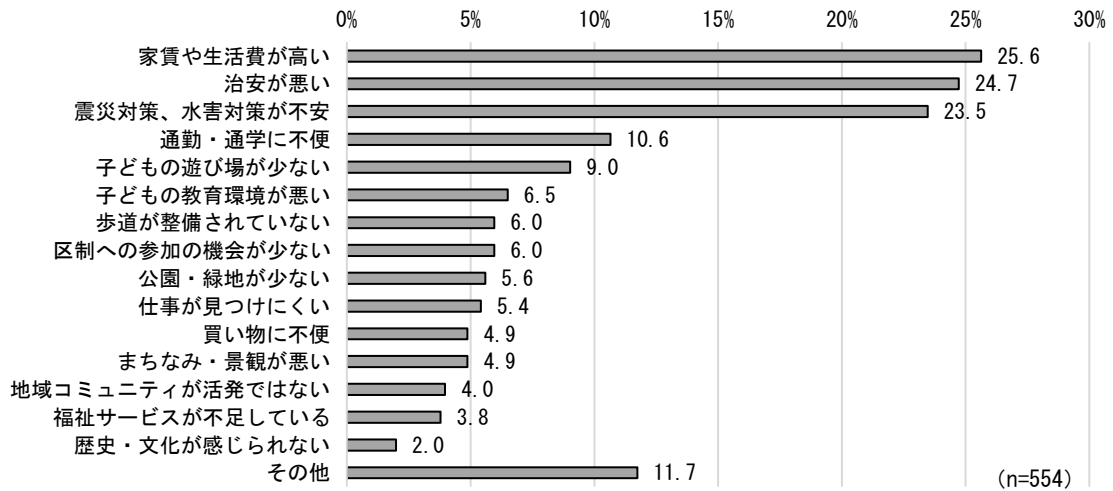
- ・墨田区の魅力について、554世帯のうちの85世帯は「特になし」、「分からない」という回答であった。
- ・残りの469世帯の主な回答内容を分類して以下のように整理した。

分類	主な回答内容	
利便性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都心へのアクセスが良い。</li> <li>・錦糸町がある。</li> <li>・住みやすい。</li> <li>・ソラマチがある。</li> <li>・駅周辺の施設が充実している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物が便利である。</li> <li>・仕事場に近い。</li> <li>・商業施設が多い。</li> <li>・実家から近い。</li> </ul>
歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相撲や北斎などの日本文化を身近に感じられる。</li> <li>・歴史を感じる場所が多い。</li> <li>・スカイツリーが近い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有名な歴史が深い。</li> <li>・両国国技館がある。</li> <li>・下町の雰囲気が良い。</li> </ul>
景観・自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園が多い。</li> <li>・隅田川周辺の環境が良い。</li> <li>・昔ながらの街並みを保存している。</li> <li>・水辺環境が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園が大きい。</li> <li>・静かである。</li> <li>・緑が多い。</li> <li>・自然が多い。</li> </ul>
子育て	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てしやすい。</li> <li>・子育て世代向けのショッピングセンターが多い。</li> <li>・子どもの遊び場がたくさんある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援が良い。</li> <li>・子どもの習い事が近い。</li> <li>・学校が多い。</li> </ul>
区政	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区政がしっかりしていて、区民へのサポートが行き届いているというイメージがあつてとても魅力的である。</li> <li>・保育園、コロナ対策など区政が充実している。</li> <li>・行政の対応が早い。</li> </ul>	
防犯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・治安が良い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全対策がしっかりしている。</li> </ul>
福祉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーの意識が高く先進的である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関が充実している。</li> </ul>
コミュニティ状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のコミュニティがしっかりあり、昔ながらの行事も残っていそうなイメージである。</li> <li>・人付き合いが良さそうである。</li> </ul>	
コロナ対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対応が良かった。</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的にみて、いろいろな観点からとても魅力的だと感じている。</li> <li>・観光地が多い。</li> </ul>	

【問7】墨田区に住むデメリット(または住みたくない理由)を教えてください。〈複数回答〉

・墨田区に住むデメリットについて、「家賃や生活費が高い」が25.6%で最も高く、次に「治安が悪い」が24.7%、「震災対策、水害対策が不安」が23.5%となっている。

■墨田区に住むデメリット(または住みたくない理由)



■その他の内容

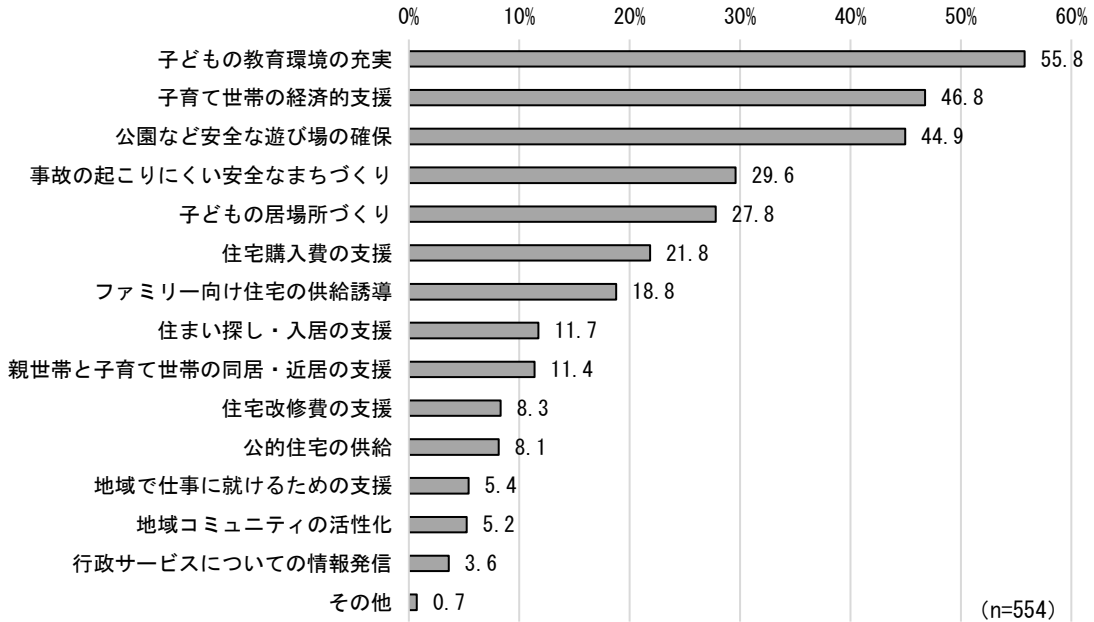
- ・観光客が多い。
- ・川が汚い。
- ・実家から遠い。
- ・道路が混む。
- ・土地の相場が高い。
- ・買える家が無い。
- ・保育園が入りにくいと聞いている。
- ・保育園料が高い。
- ・待機児童がいる。 等



【問8】子育て世帯が住み続ける上で重要だと思うことを教えてください。〈3つまで〉

・子育て世帯が住み続ける上で重要だと思うことについて、「子どもの教育環境の充実」が55.8%で最も高く、次に「子育て世帯の経済的支援」が46.8%、「公園など安全な遊び場の確保」が44.9%となっている。

■子育て世帯が住み続ける上で重要だと思うこと



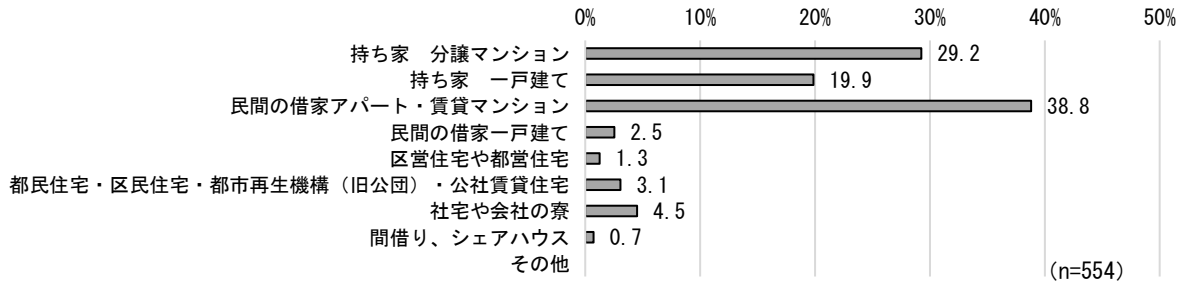
■その他の内容

- ・ 保育施設やサービスの拡充
- ・ 防災
- ・ 治安 等

【問9】今お住まいの住宅はどのような種類ですか。〈単数回答〉

・住まいの種類について、「民間の借家アパート・賃貸マンション」が38.8%で最も高く、次に「持ち家 分譲マンション」が29.2%、「持ち家 一戸建て」が19.9%となっている。

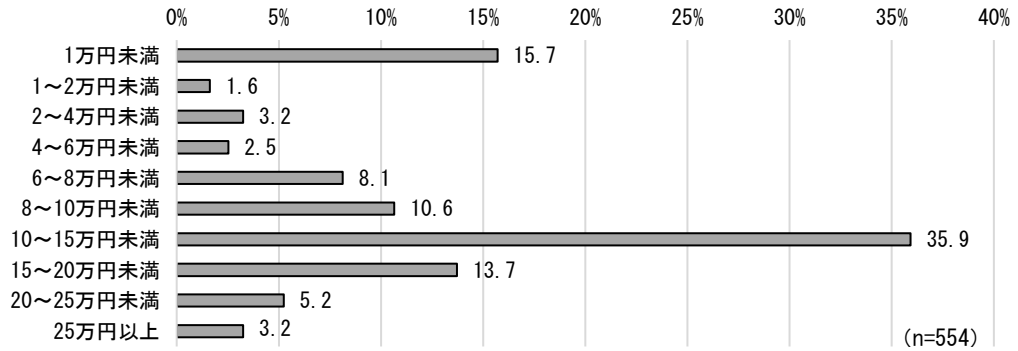
■住宅の種類



【問10】 月々の住居費(家賃・管理費、住宅ローンの合計)はいくらですか。

・月々の住居費について、「10～15万円未満」が35.9%と最も高く、次に「1万円未満」が15.7%、「15～20万円未満」が13.7%となっている。

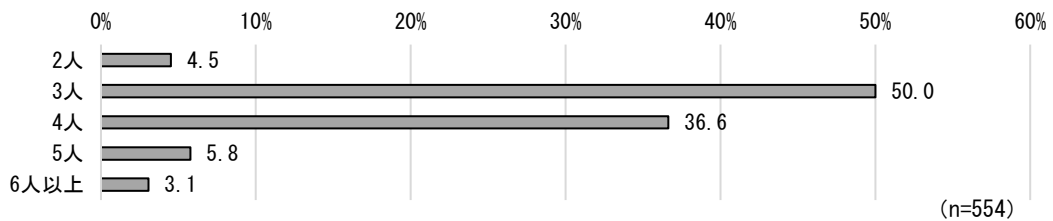
■月額住居費



【問11】 同居している家族はあなたを含めて何人ですか。〈単数回答〉

・家族人数について、「3人」が50.0%と最も高く、「4人」が36.6%となっている。

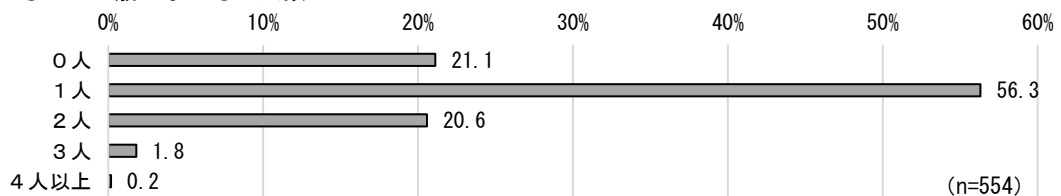
■同居している家族の人数



【問12】 同居している0～5歳の子ども的人数をお答えください。〈単数回答〉

・同居している0～5歳の子ども的人数について、「1人」が56.3%と最も高く、次に「0人」が21.1%、「2人」が20.6%となっている。

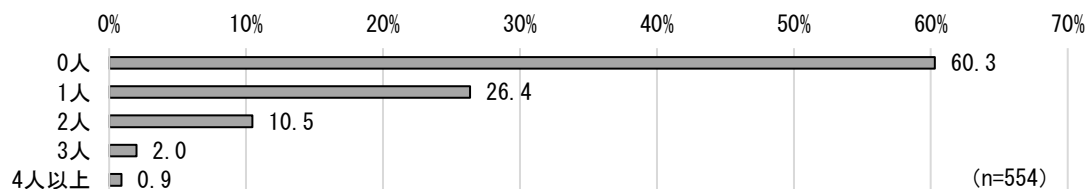
■同居している0～5歳の子ども的人数



**【問13】同居している6～18歳の子ども的人数をお答えください。〈単数回答〉**

・同居している6～18歳未満の子ども的人数について、「0人」が60.3%で最も高く、次に「1人」が26.4%、「2人」が10.5%となっている。

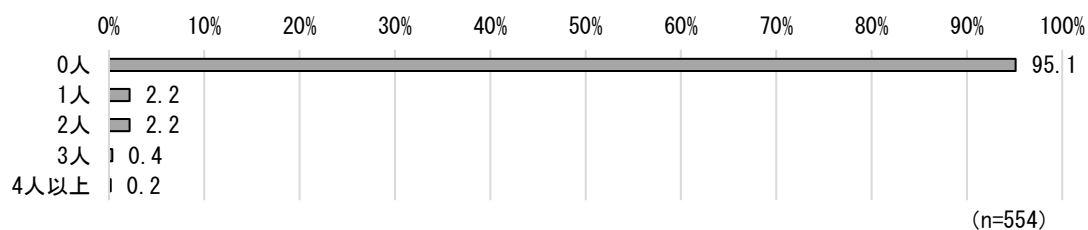
■同居している6～18歳の子ども的人数



**【問14】同居している18歳以上の子ども的人数をお答えください。〈単数回答〉**

・同居している18歳以上の子ども的人数について、「0人」が95.1%で最も高く、次に「1人」及び「2人」がともに2.2%となっている。

■同居している18歳以上の子ども的人数



## 2 子育て世帯等定住促進事業利用者アンケート

### (1) 調査概要

子育て世帯等定住促進事業利用者アンケートでは、民間賃貸住宅転居・転入支援制度利用者アンケート及び三世代同居・近居住宅取得支援制度利用者アンケートを実施した。

#### ■調査の目的

調査の目的は、子育て世帯等定住促進事業の実態を把握することにより、安心して子どもを生育させることができる環境づくりを一層効果的に進めるため、今後の施策を検討するうえでの基礎資料とする。

#### ■調査の設計

- (1) 調査対象 本制度の利用者
- (2) 調査方法 制度申請時に回収
- (3) 調査期間 2018（平成30）年度～2021（令和3）年度の4年間

#### ■調査結果の見方

- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。このため、百分率の合計が100.0%にならないことがある。
- 基数となる実数はnとして掲載し、各グラフの比率はnを母数とした割合を示している。
- 一部のグラフについて、クロス集計をする上で「無回答」を省略しているものがある。
- 1人の回答者が複数回答する設問では「複数回答」と表示している。この場合、その比率の合計は100.0%を上回ることがある。

### ア 民間賃貸住宅転居・転入支援制度利用者アンケート

#### ■回答数

2018（平成30）年度：27世帯  
2019（令和元）年度：73世帯  
2020（令和2）年度：118世帯  
2021（令和3）年度：116世帯  
回答数合計 334世帯

### イ 三世代同居・近居住宅取得支援制度利用者アンケート

#### ■回答数

2018（平成30）年度：37世帯  
2019（令和元）年度：62世帯  
2020（令和2）年度：107世帯  
2021（令和3）年度：73世帯  
回答数合計 279世帯

## (2) 調査結果

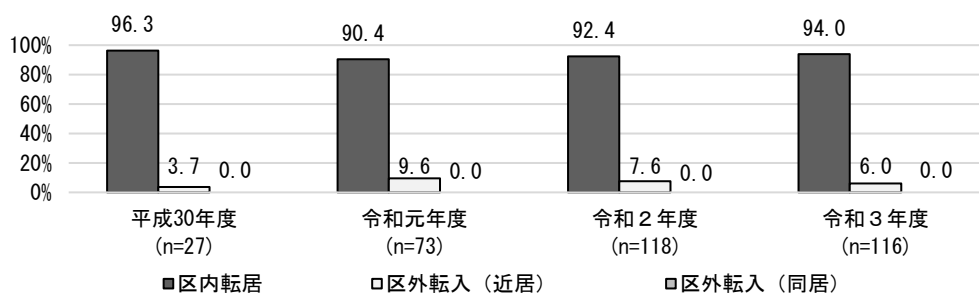
制度利用者に対し、申請した助成内容や申請理由、助成制度に関する情報の入手方法、助成制度による住宅購入・部屋探し等の判断への影響等について聞いた。主な調査結果を以下のようにまとめた。

### ア 民間賃貸住宅転居・転入支援制度利用者アンケート

#### (ア) 申請した助成内容

・助成内容には、「区内転居」、「区外転入（近居）」及び「区外転入（同居）」があり、各年度とも「区内転居」が多く、90.4%～96.3%となっている。

#### ■申請した助成内容



#### (イ) 申請者の平均年齢

・申請者の各年度の平均年齢は、35.5歳～36.5歳となっている。

#### (ウ) 家族人数及びそのうち6歳以下の子どもの人数

- ・各年度の家族人数の平均は、3.1人～3.3人で、3人が中心となっている。
- ・6歳以下の子どもの人数の平均は、1.1人～1.3人となっている。

#### (エ) 助成制度に関する情報の入手方法

・助成制度に関する情報の入手方法は、各年度とも「区ホームページ」が最も多く、27.2%～44.4%となっている。次いで多いのは「事業紹介チラシ」であるが、これは、2018（平成30）年度には17.9%だったものが2021（令和3）年度には11.0%まで減っている。

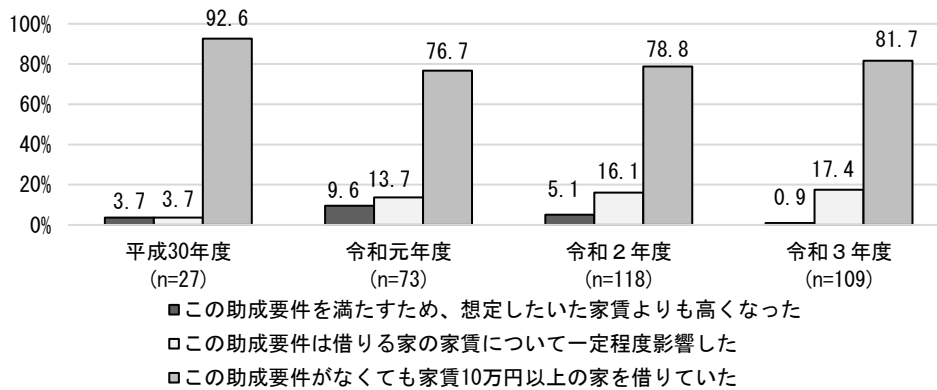
### (オ) 助成制度の部屋探しの判断への影響

- ・助成制度の部屋探しの判断への影響については、各年度とも「この助成事業がなくても墨田区内で家を借りることを考えていた」が最も多く、41.5%～66.7%となっている。

### (カ) 助成制度の家賃の判断への影響

- ・助成制度の家賃の判断への影響については、各年度とも「この助成要件がなくても家賃10万円以上の家を借りていた」が最も多く、76.7%～92.6%となっている。

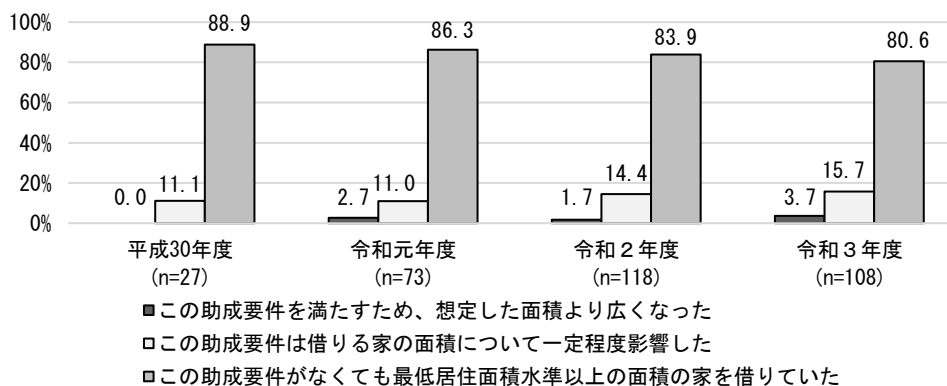
#### ■助成制度の家賃の判断への影響



### (キ) 助成制度の住宅の面積への影響

- ・助成制度の住宅の面積への影響については、各年度とも「この助成要件がなくても最低居住面積水準以上の面積の家を借りていた」が最も多く、80.6%～88.9%となっている。

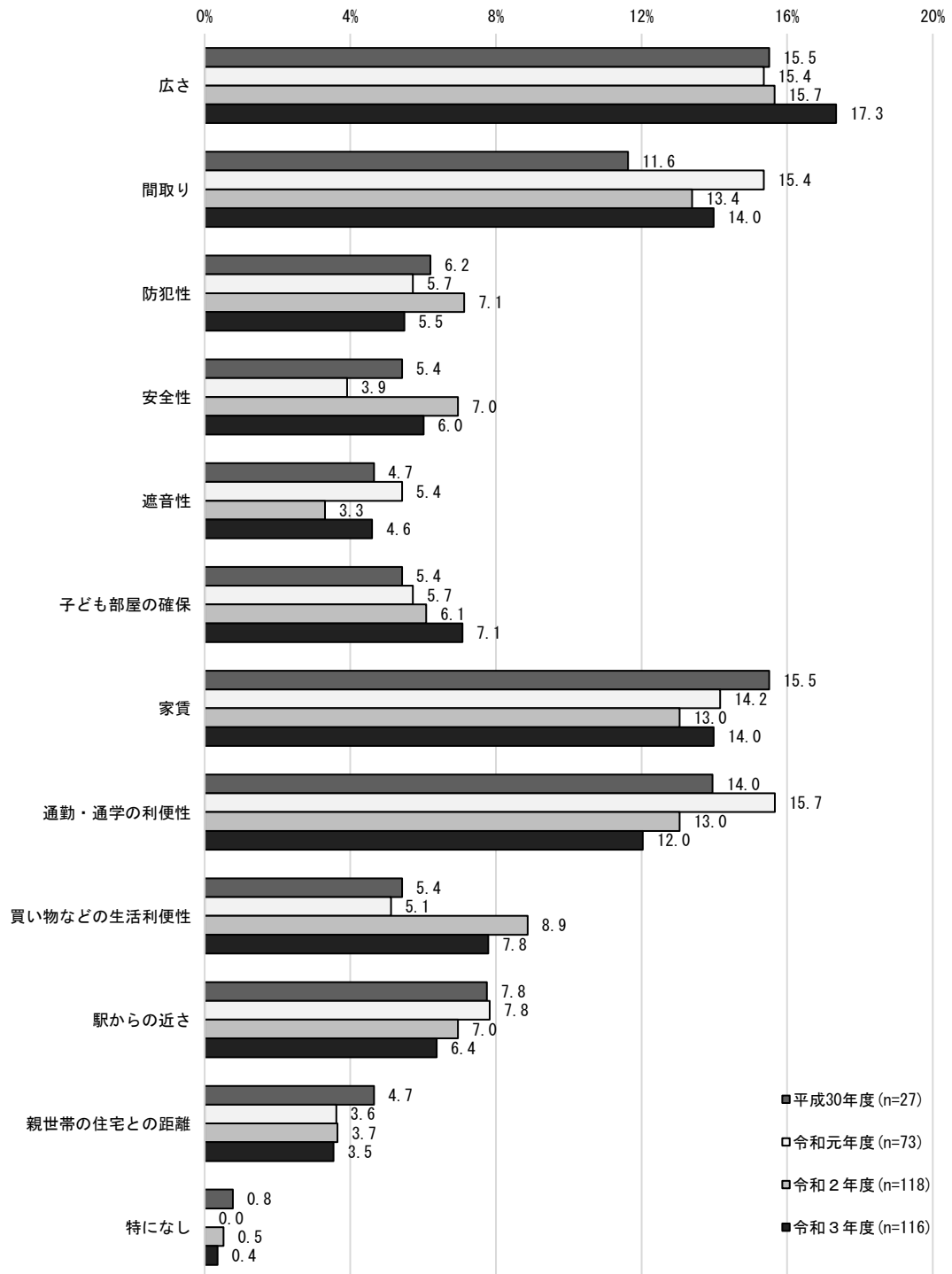
#### ■助成制度の住宅の面積への影響



(ク) 住宅を借りる際に重視する点

・住宅を借りる際に重視する点については、2018（平成 30）年度は「広さ」及び「家賃」が 15.5%で最も多く、2019（令和元）年度は「通勤・通学の利便性」が 15.7%で最も多く、2020（令和 2）年度及び2021（令和 3）年度は「広さ」が最も多く 15.7%、17.3%となっている。

■住宅を借りる際の重視点



#### (ケ) 転居するにあたって、墨田区以外で転居を検討した地域

- ・転居を検討した地域については、各年度とも「墨田区以外は検討していない」が最も多く、37.1%～44.6%となっている。
- ・墨田区以外で転居を検討した地域は、2018（平成30）年度は「台東区」が21.2%で最も多く、2019（令和元）年度は「江東区」が21.6%で最も多い。これ以降は、各年度とも「江東区」が最も多くなっている。

#### (コ) 現在の住宅にどれぐらい居住する予定か

- ・居住予定については、2018（平成30）は「2～4年未満」と「未定」が33.3%の同率で最も多く、2019（令和元）年度は「4年以上」が38.4%、2020（令和2）年度は「4年以上」が40.5%、次いで「2～4年未満」が多く35.3%となっている。

#### (サ) 住宅の広さの満足度

- ・住宅の広さについては、各年度とも「ちょうど良い」が最も多く、38.1%～42.2%となっている。

#### (シ) 住宅の家賃の満足度

- ・住宅の家賃については、2018（平成30）年度は「やや高い」が44.4%で最も多く、2019（令和元）年度は、「ちょうどよい」が最も多く41.1%となっている。2020（令和2）年度及び2021（令和3）年度は「やや高い」が43.2%、48.3%で最も多くなっている。

#### (ス) 住宅の周辺環境の満足度

- ・住宅の周辺環境については、2018（平成30）年度は「満足」が40.7%で最も多く、2019（令和元）年度も「満足」が41.1%となっている。2020（令和2）年度及び2021（令和3）年度は「やや満足」が45.2%、51.7%で最も多くなっている。

#### (セ) 平均家賃

- ・平均家賃は、2018（平成30）年度では133,830円で、その後は上昇し、2021（令和3）年度は146,541円となっている。

#### (ソ) 平均面積

- ・平均面積は、各年度で56.90㎡～59.35㎡となっている。

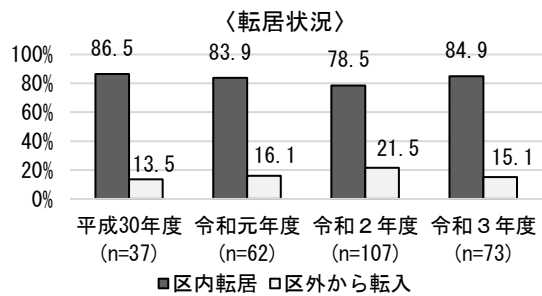
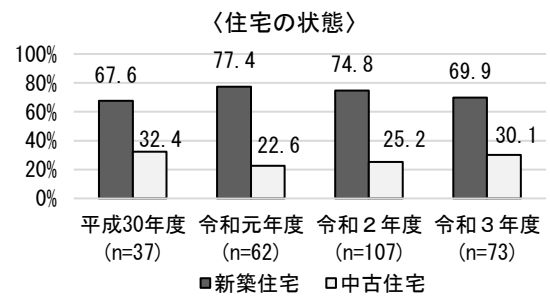
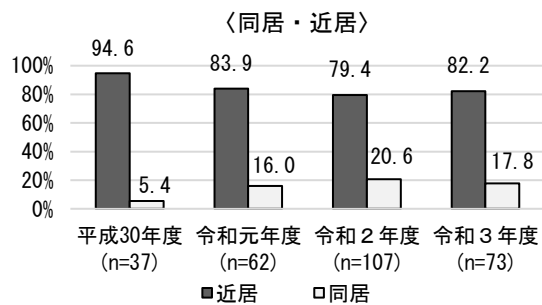


## イ 三世同居・近居住宅取得支援制度利用者アンケート

### (ア) 申請した助成内容

- ・申請した助成内容は、各年度とも「近居」が多く、79.4%～94.6%となっている。「同居」は5.4%～20.6%となっている。
- ・住宅の状態は、各年度とも「新築住宅」が多く67.6%～77.4%となっている。「中古住宅」は22.6%～30.1%となっている。
- ・転居状況は、各年度とも「区内転居」が多く、78.5%～86.5%となっている。

#### ■申請した助成内容



### (イ) 申請者の平均年齢

- ・申請者の各年度の平均年齢は、36.1歳～37.2歳となっている。

### (ウ) 家族人数及びそのうち15歳以下の子どもの人数

- ・各年度の家族人数の平均は、3.4人～3.9人となっている。
- ・15歳以下の子どもの人数の平均は、1.3人～1.7人となっている。

### (エ) 助成制度に関する情報の入手方法

- ・助成制度に関する情報の入手方法は、各年度とも「区ホームページ」が最も多く、25.6%～48.9%となっている。
- ・2018（平成30）年度は、「区ホームページ」が25.6%で最も多く、「友人・知人からの紹介」が20.5%で二番目に多くなっている。これ以降、「友人知人からの紹介」は順位を落とし、2020（令和2）年度以降は「区ホームページ」と「不動産事業者からの紹介」が多い。

**(オ) 助成制度の住宅建設・購入の判断への影響**

- ・助成制度の住宅建設・購入の判断への影響は、各年度とも「この助成事業がなくても建設・購入していた」が最も多く、50.5%～78.4%となっている。次に多いのは「この助成事業は一定程度建設・購入することに影響した」で、2020（令和2）年度には43.6%、2021（令和3）年度には42.5%となっている。

**(カ) 助成制度の同居・近居の判断への影響**

- ・助成制度の同居・近居の判断への影響は、各年度とも「この助成事業がなくても同居・近居していた」が最も多く、60.7%～80.6%となっている。次に多いのは「この助成事業は一定程度同居・近居することに影響」で、2020（令和2）年度は35.5%となっている。

**(キ) 助成制度の購入場所の決定の判断への影響**

- ・助成制度の購入場所の決定の判断への影響は、各年度で順位が入れ替わっている。
- ・2018（平成30）年度は「やや影響した」が33.3%で最も多く、2019（令和元）年度は「全く影響しなかった」40.3%で最も多くなっている。2020（令和2）年度は「やや影響した」が30.8%、2021（令和3）年度は「あまり影響しなかった」が33.8%となっている。

**(ク) 転居するにあたって、墨田区以外で取得を検討した地域**

- ・転居するにあたって、取得を検討した地域は、各年度とも「墨田区以外は検討していない」が最も多く、62.5%～75.0%となっている。
- ・そのほかに検討した地域としては、各年度とも「江東区」が最も多く、6.7%～10.2%となっている。

**(ケ) 親世帯の住宅から1km以内で住宅を取得することは難しかったかどうか**

- ・親世帯の住宅から1km以内で住宅を取得することは難しかったかどうかについては、各年度とも「難しかった」が多く41.9%～72.4%となっている。

**(コ) 以前の住宅の形態**

- ・以前の住宅の形態は、各年度とも「共同住宅（民間賃貸）」が最も多く、48.4%～58.9%となっている。

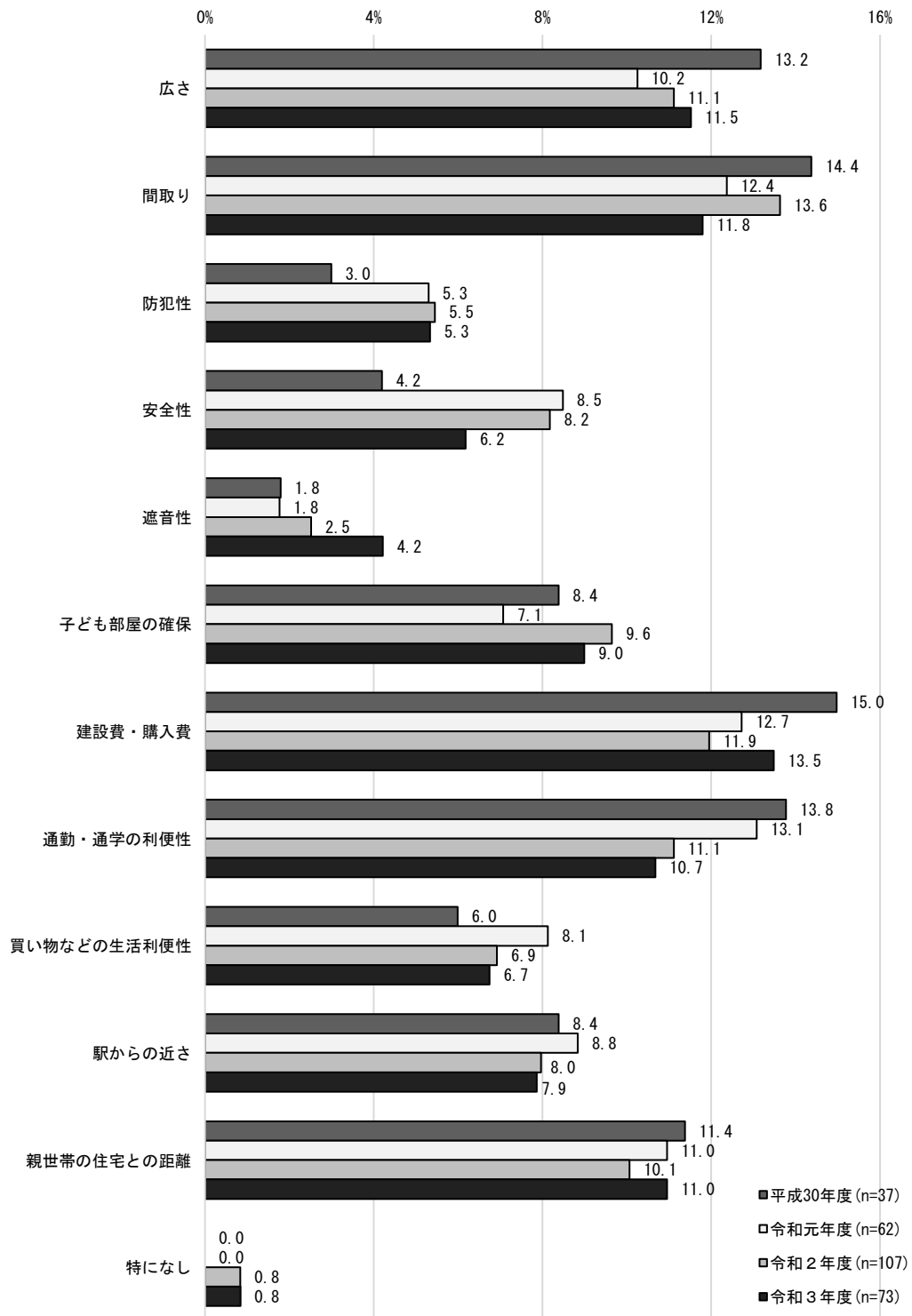
**(サ) フラット 35 地域連携型（旧「フラット 35 子育て支援型」）の利用状況（住宅ローンを組んだ方のみ回答）**

- ・フラット 35 地域連携型（旧「フラット 35 子育て支援型」）の利用状況は、各年度とも「利用していない」が最も多く、76.1%～94.6%となっている。

(シ) 住宅を建設・購入する際に重視する点

・住宅を建設・購入する際に重視する点は、2018（平成30）年度及び2021（令和3）年度では「建設費・購入費」が最も多く15.0%、13.5%となっている。2019（令和元）年度では「通勤・通学の利便性」が13.1%で最も多く、2020（令和2）年度では「間取り」が13.6%で最も多くなっている。

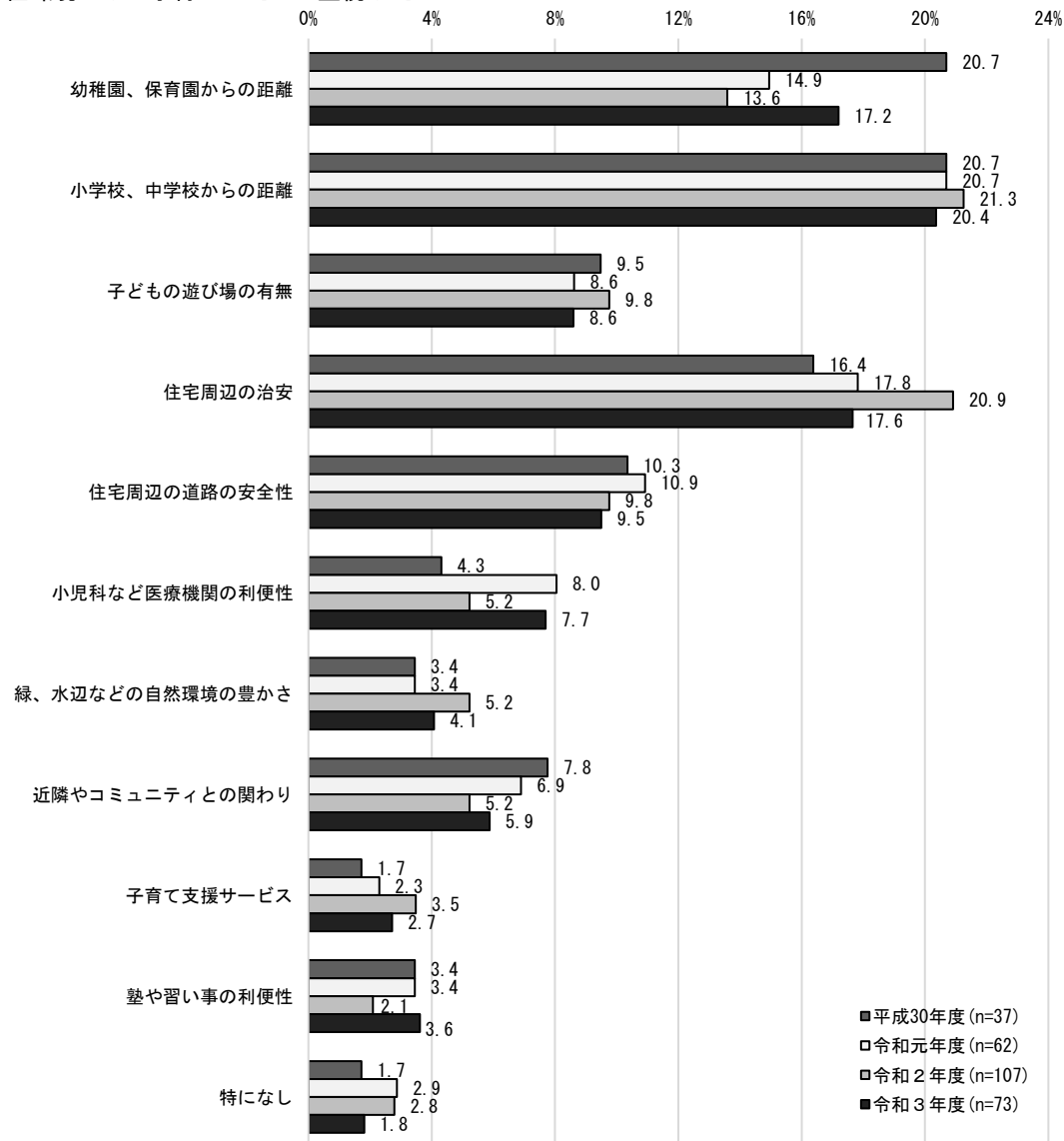
■住宅を建設・購入する際に重視する点



(ス) 子育てのための住環境として重視したこと

- ・子育てのための住環境として重視したことは、各年度ともに、「小学校、中学校からの距離」が最も多く、20.4%～21.3%となっている。
- ・2018（平成30）年度は「幼稚園、保育園からの距離」と「小学校、中学校からの距離」が同率で20.7%となっている。

■住環境として子育てのために重視したこと



(セ) 近居の平均距離

- ・近居の平均距離は、各年度で400m～510mとなっている。

(ソ) 平均専有面積

- ・平均専有面積は、各年度で84.14㎡～99.14㎡となっている。

### 3 学生アンケート調査

#### (1) 調査概要

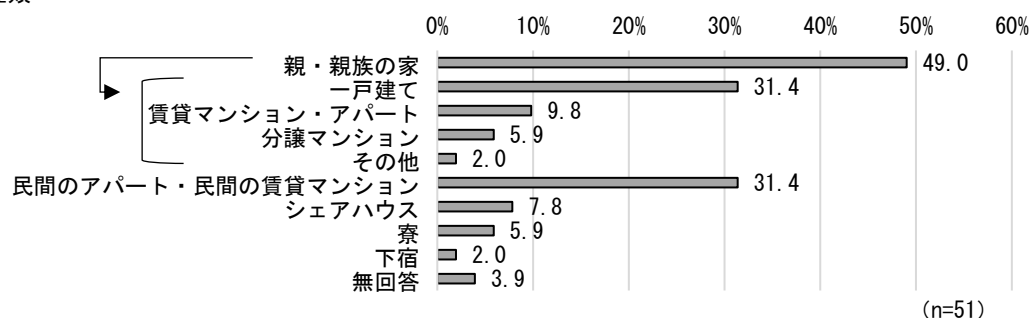
- ・調査目的：区内の大学生の居住における現状を把握し、今後の住宅政策検討のための基礎資料とする。
- ・実施時期：2022（令和4）年2月28日～2022（令和4）年3月31日
- ・調査対象：iU情報経営イノベーション専門職大学の学生
- ・調査方法：Webアンケート調査

#### (2) 調査結果

##### 【問1】今お住まいの住宅はどのような種類ですか。〈単数回答〉

- ・住宅の種類について、「親・親族の家」が49.0%で最も高く、次に「民間のアパート・民間の賃貸マンション」が31.4%となっている。
- ・「親・親族の家」の内訳をみると、「一戸建て」が31.4%で最も高く、次に「賃貸マンション・アパート」が9.8%となっている。

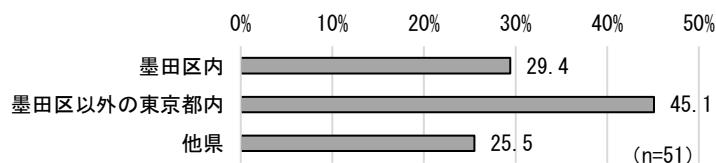
##### ■住宅の種類



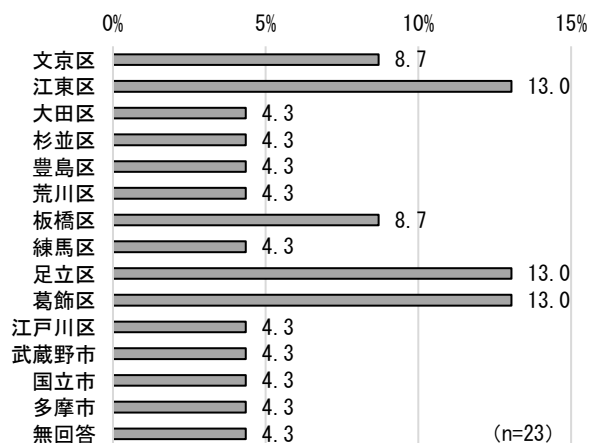
##### 【問2】今お住まいの場所はどこですか。〈単数回答〉

- ・居住地域について、「墨田区以外の東京都内」が45.1%で最も高く、次に「墨田区内」が29.4%となっている。
- ・「墨田区以外の東京都内」の具体的な内容をみると、「江東区」、「足立区」及び「葛飾区」が13.0%で最も高く、次に「文京区」及び「板橋区」が8.7%となっている。
- ・「他県」の具体的な内容をみると、「神奈川県」が46.2%で最も高く、次に「千葉県」が23.1%となっている。

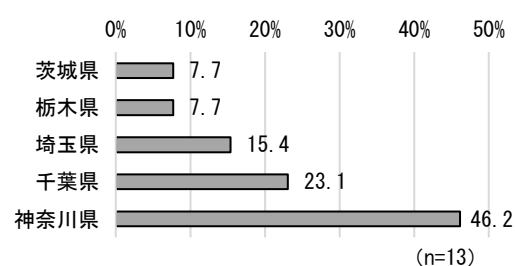
##### ■居住地域



■「墨田区以外の東京都内」の具体的な内容（単数回答）



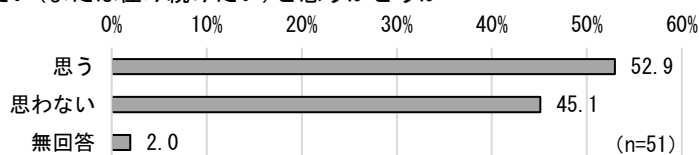
■「他県」の具体的な内容（単数回答）



【問3】墨田区に住んでみたい(または住み続けたい)と思いますか。〈単数回答〉

・墨田区に住んでみたい(または住み続けたい)と思うかどうかについて、「思う」が52.9%で最も高く、次に「思わない」が45.1%となっている。

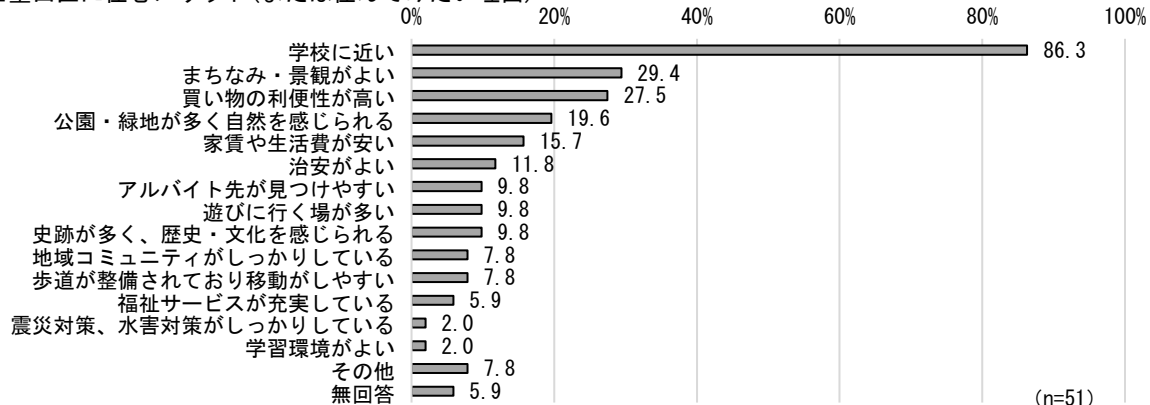
■墨田区に住んでみたい(または住み続けたい)と思うかどうか



【問4】墨田区に住むメリット(または住んでみたい理由)を教えてください。〈複数回答〉

・墨田区に住むメリット(または住んでみたい理由)について、「学校に近い」が86.3%で最も高く、次に「まちなみ・景観がよい」が29.4%、「買い物の利便性が高い」が27.5%となっている。

■墨田区に住むメリット(または住んでみたい理由)



■その他の内容

- ・交通の便が良い。
- ・老舗が多い。個人経営の隠れ家的な食事処が多い。
- ・これから再生の余地がある。 等

【問5】墨田区の魅力と思うものをひとつあげてください。

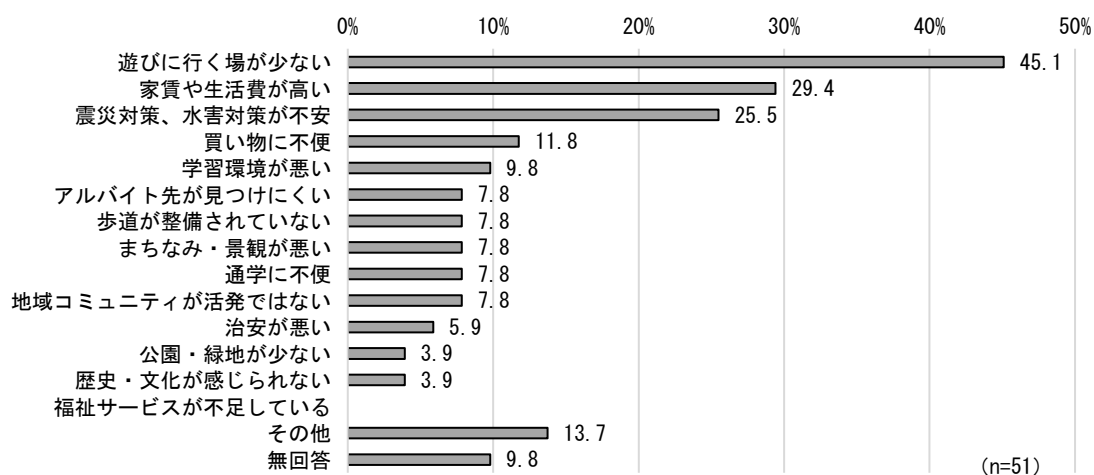
- ・墨田区の魅力について、51人のうち、2人が「分からない」という回答であり、10人が無回答であった。
- ・残りの39人の主な回答内容を分類して以下のように整理した。

分類	主な回答内容
歴史・文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スカイツリーが近い。</li> <li>・モノづくり、町人文化</li> <li>・下町感とスカイツリーの様な近代的なものの融合</li> <li>・歴史ある建物と新しい建物が調和しているところ</li> </ul>
景観・自然環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然がちょうどいい。</li> <li>・隅田川周辺の環境が良い。</li> <li>・静かである。</li> <li>・落ち着いている。</li> </ul>
利便性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通が便利である。</li> <li>・ソラマチがある。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・墨田区企業の地域への帰属意識</li> <li>・子どもが多く、都会過ぎない。</li> </ul>

【問6】墨田区に住むデメリット(または住みたくない理由)を教えてください。〈複数回答〉

- ・墨田区に住むデメリット(または住みたくない理由)について、「遊びに行く場が少ない」が45.1%で最も高く、次に「家賃や生活費が高い」が29.4%、「震災対策、水害対策が不安」が25.5%となっている。

■墨田区に住むデメリット(または住みたくない理由)



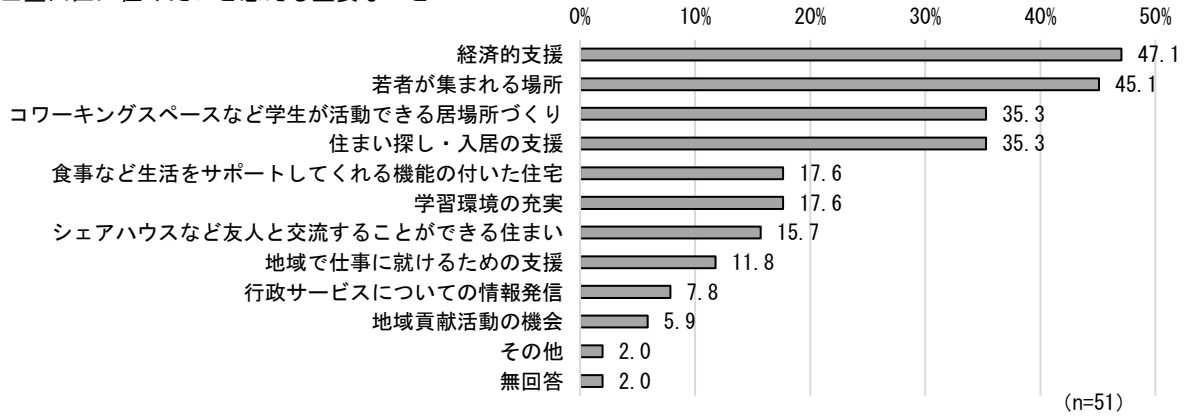
■その他の内容

- ・住む地域としてより魅力的な地域が周辺にある。
- ・夜、サイレンなどの騒音が多い。
- ・地域情報が少ない。
- ・あまり知らないまちである。 等

【問7】墨田区に住みたいと思えるには、どのようなことが重要だと思いますか。〈2つまで〉

・墨田区に住みたいと思える重要なことについて、「経済的支援」が47.1%で最も高く、次に「若者が集まれる場所」が45.1%、「コワーキングスペースなど学生が活動できる居場所づくり」及び「住まい探し・入居の支援」が35.3%となっている。

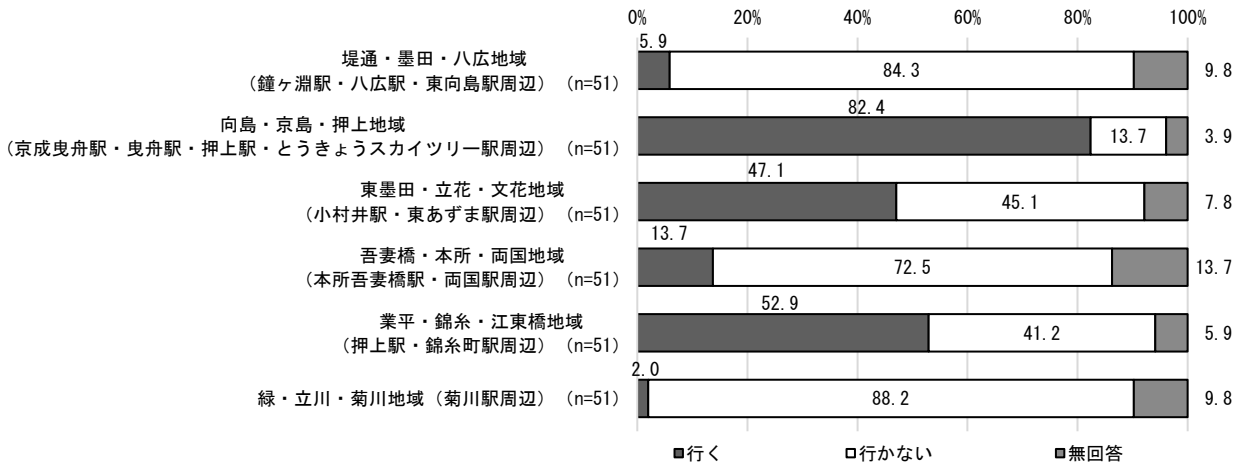
■墨田区に住みたいと思える重要なこと



【問8-1】墨田区内のよく行く地域はどこですか。〈複数回答〉

・墨田区内のよく行く地域について、「向島・京島・押上地域（京成曳舟駅・曳舟駅・押上駅・とうきょうスカイツリー駅周辺）」が82.4%で最も高く、次に「業平・錦糸・江東橋地域（押上駅・錦糸町駅周辺）」が52.9%となっている。

■墨田区内のよく行く地域





【問8-2】建物や公園など、墨田区内でよく行くスポットがあれば具体的にご記入ください。

- ・建物や公園など、墨田区内でよく行くスポットについて、51人のうち、1人が「特になし」という回答であり、28人が無回答であった。
- ・残りの22人の主な回答内容を分類して以下のように整理した。

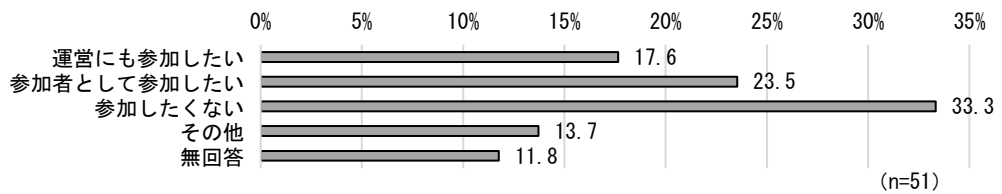
建物や公園など、 墨田区内でよく行くスポット	回答者数	建物や公園など、 墨田区内でよく行くスポット	回答者数
スカイツリー・ソラマチ	10人	オリナス	2人
IU(大学)	6人	アルカキット	2人
錦糸町	3人	隅田公園	2人
亀戸	1人	その他(スーパー、博物館、曳舟駅)	3人

【問9-1】住生活に関するテーマでワークショップを開催した場合、参加したいと思いますか。

〈単数回答〉

- ・住生活に関するテーマでワークショップを開催した場合、参加したいと思いますかどうかについて、「参加したくない」が33.3%で最も高く、次に「参加者として参加したい」が23.5%、「運営にも参加したい」が17.6%となっている。

■住生活に関するテーマでワークショップを開催した場合、参加したいと思いますか



【問9-2】ワークショップで話し合ってみたい具体的なテーマがあればご記入ください。

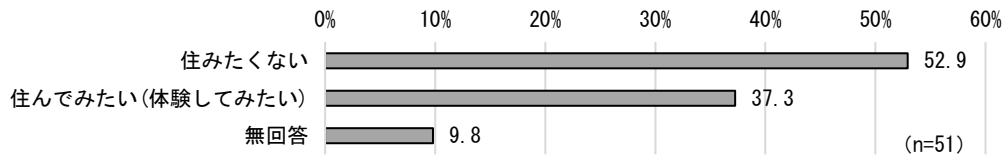
- ・ワークショップで話し合ってみたい具体的なテーマについて、51人のうち、1人が「特になし」という回答であり、40人が無回答であった。
- ・残りの10人の主な回答内容を以下のように整理した。

ワークショップで話し合ってみたい具体的なテーマ	居住している住宅の種類
3Dプリンターで作られた家に住むかどうか。	民間のアパート・民間の賃貸マンション
墨田区内の利便性を上げるにはどうすれば良いか。	民間のアパート・民間の賃貸マンション
シェアハウス	シェアハウス
墨田区と若者	民間のアパート・民間の賃貸マンション
ペットの飼育放棄	親・親族の家
料理のレポーター	下宿
ブランドを生み出す為の取組	寮
転居など	民間のアパート・民間の賃貸マンション
すみだアーバンシティ化計画	親・親族の家
観光地ができるのと地価や家賃も比例して上がりやすいため、居住者は減るのでは無いかという問題について	親・親族の家

【問10】親族ではない方の住宅の一部を借りて住む、ホームシェア・下宿についてどう思いますか。〈単数回答〉

・親族ではない方の住宅の一部を借りて住む、ホームシェア・下宿に住みたいかどうかについて、「住みたくない」が52.9%で最も高く、次に「住んでみたい(体験してみたい)」が37.3%となっている。

■親族ではない方の住宅の一部を借りて住む、ホームシェア・下宿に住みたいかどうか

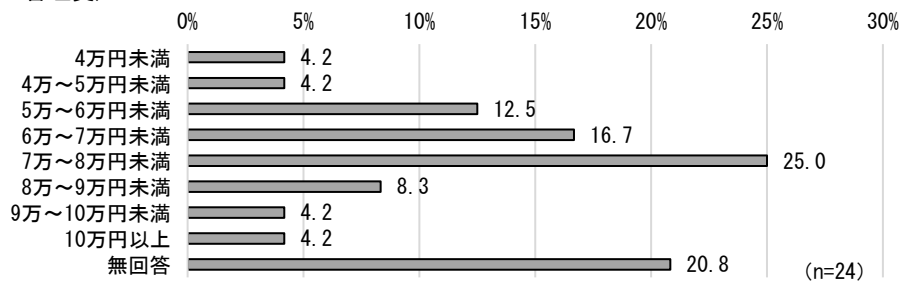


【問11】あなたが支払っている月々の住居費(家賃・管理費)はいくらですか。〈単数回答〉

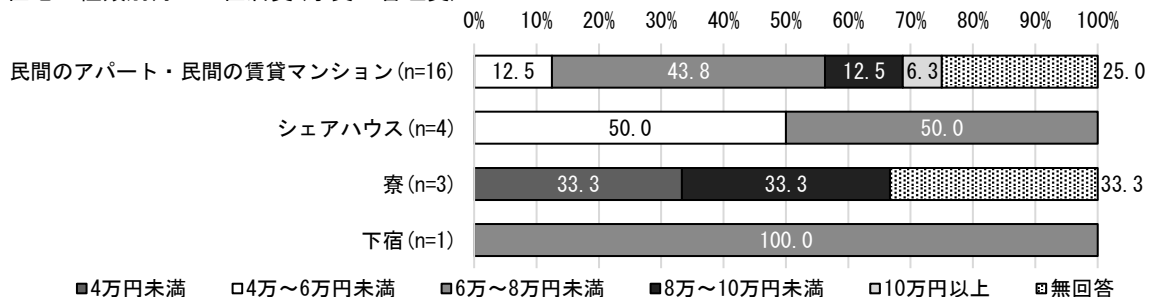
・住宅の種類に「民間のアパート・民間の賃貸マンション」、「シェアハウス」、「寮」及び「下宿」と回答した者について、月々の住居費(家賃・管理費)は「7万～8万円未満」が25.0%で最も高く、次に「6万～7万円未満」が16.7%となっている。

・住宅の種類別月々の住居費(家賃・管理費)をみると、民間のアパート・民間の賃貸マンションは「6万～8万円未満」が43.8%で最も高く、シェアハウスは「4万～6万円未満」及び「6万～8万円未満」が50.0%で最も高くなっている。

■月々の住居費(家賃・管理費)



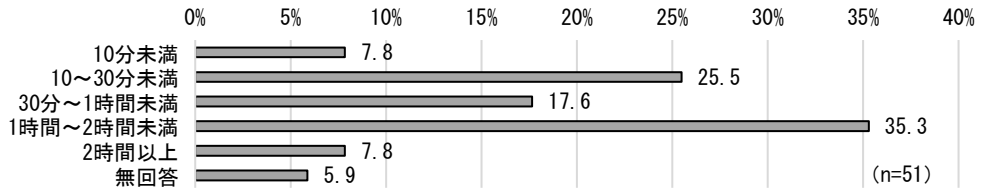
■住宅の種類別月々の住居費(家賃・管理費)



【問12】通学にかかる時間はどのくらいですか。〈単数回答〉

・通学時間について、「1時間～2時間未満」が35.3%で最も高く、次に「10～30分未満」が25.5%となっている。

■通学時間



【問13】同居している家族はあなたを含めて何人ですか。〈単数回答〉

・同居家族人数について、「1人(ひとり暮らし)」が33.3%で最も高く、次に「2人」及び「4人」が17.6%となっている。

■同居家族人数

